

9月の社会教育事業

<中央公民館>
☎385-2043

- ボランティア講座
期日 9月6日(木) 午前9時30分～正午
内容 痴呆とその接し方
講師 小栗宗春氏・本間玲子氏
- 菊づくり講座
期日 9月6日(木)
講師 長井 貞氏
- いきいきセミナー
期日 9月12日(火) 午後1時30分
内容 書くことに挑戦「自分史づくり」
講師 須田英夫氏
- 子育てセミナー
期日 9月16日(土) 午前9時30分
講演「第4回世界女性会議に参加して」
講師 午膳ハル氏
- お菓子づくり講座
期日 9月19日(火) 午前10時～
講師 木伏二子氏
- 婦人大学
期日 9月21日(木) 午前11時～
内容 テーブルマナー
- ふるさとよこごし発見I (史跡探訪)
期日 9月29日(金) 午後1時30分～
会場 農業改良普及所
内容 梨狩り

<総合体育館>
☎385-4477

- 第14回近郷少年野球大会
期日 9月10日(日)
予備日 9月15日(金)
横越小・中グラウンド
- NTTCUP新潟県ママさんバレーボール選手権大会新潟地区大会
期日 9月15日(金)
- 地域公民館親善スポーツ大会
期日 10月15日(日)
- 4人制ソフトバレー教室
期日 9月5日(火)・19日(木)
時間 昼の部と夜の部開催
第2期受講者募集
- ミニバスケットボール教室
毎週金曜日 午後7時～
- ドッジボール教室
第2・第4土曜日 午前9時30分～
- トレーニング器具操作講習会
期日 9月6日(木) 午後7時～
9月14日(木) 午後1時30分～
9月26日(火) 午後7時～
- 健康体力づくり教室
実施 10月上旬～
内容 様々なトレーニングやスポーツ種目による体力づくり
各年齢にあったトレーニングを実施する予定

ボランティア講座だより②

「老人介護ボランティア講座」の具体的な学習が七月から始まり、車椅子を使った実習などが行われました。



参加者はラップを巻いたサンングラスをかけ、ひざをタオルなどで固定して、自分の思うように動

かない老人の身体の状態を体感し、交代で寝たきりの老人になって、体位交換の仕方、車椅子の扱い方などを学びました。実習後の話し合いでは、「やり方次第で、介護される方共にならる」

- バスケットボール成年男子 武藤 俊 昭さん(横越)
- バレーボール 県立新潟養護学校教諭
- ハンドボール成年女子 源川 恭子さん(新潟市)
- 卓球少年男子 横越村役場保健婦
- 野球 いっ子さん(横越)
- ハンドボール成年女子 長谷川 寿 史さん(横越)
- バレーボール 北越高校三年
- フエンシング少年男子 清水 純(沢海)
- クレイ射撃スキートの部監督 佐藤 忠 昭さん(木津)
- サトウエッジニア (有)

俳句募集

- ▼句題 秋風、鈴虫、葡萄
- ▼締切日 9月20日(木)
- ▼投稿方法 はがきまたは封書で6句以内、紙上筆名の際には原稿末尾には本名、年齢、住所を明記
- ▼あて先 横越村中央公民館「文芸作品係」

第十六回北信越国体

出場選手

八月二十五日から二十六日にかけて富山県で開催された北信越国体に新潟県代表として次の方々が出場しました。

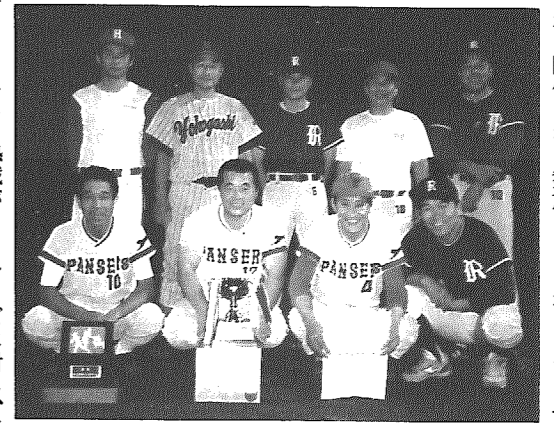
'95よこごしオープンテニス大会

出場ペア募集

- ・期日 10月10日(火) 体育の日
- ・会場 木津やすらぎ公園テニスコート
- ・試合方法 男女別ダブルス 1セットマッチ(6ゲーム先取)
- ・参加費 1ペア 2,000円
- ・申込締切 9月29日
- ・申込み・問い合わせ 横越村総合体育館
- ・その他 参加賞(全員) 優秀ペアにメダルと賞品男女とも16ペアになり次第締め切ります。
- ・参加資格の制限はありません。

第14回壮年野球大会

横越名球会が初優勝



優勝した名球会のみなさん

第十四回壮年ナイター野球大会が横越中学校グラウンドで七月二十五日から開催され、参加

川端康成文学賞

「みのむし」を聴く

講師派遣講座(文学)が、七月十二日川根谷内藤田信雄さん宅で、文学評論家若月忠信先生を迎え開催しました。テーマは川端康成文学賞作品三浦哲郎氏の短編小説「みのむし」。

講演会、質疑応答、懇談会などで笑いを交え、和やかで爽やかな多い講演会となりました。会場が個人住宅でしたが、藤田さんの心配りも盛会の理由につながったのだと思います。今回は、木津山田正三さんの呼びかけにより行われました。

村史編さんだより

横越村合併の経緯とその周辺④

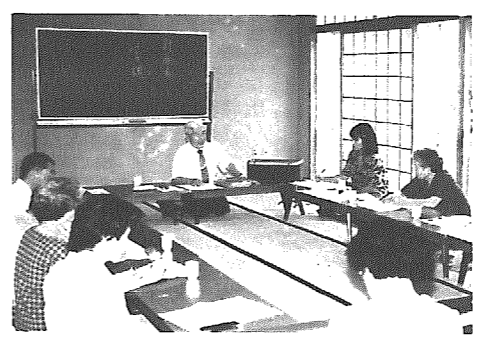
今月は先月に引き続き、現横越村も含まれていた第二十一大区における地租改正事業についてもう少し触れてみます。

明治五年(一八七二年)九月から大小区制は施行されましたが、数次にわたり変更が行われ、最終的には現横越村は明治六年(一八七三年)九月に第二十一大区に属することになります。

「(前略)各大区が第二十一大区を推して第一等の地位と見做せしをハ特り第二十一大区の協議員ハ不当の見込となし到底その見込なるものハ畑地の如何を銘々ガ知らざるより起りたるに於て投票に当りたる我区の如ハ実に甚ハだ迷惑の次第なりと喋々これを切論し終に衆協議員も説破されて其論を可とし議事ハ暫らく中止する事となりて昨日よりハ可の銘々の区の畑地の模様を演説し其後にて等級の見込をも立する事となりたるよし」以上明治十一年(一八七八年)四月三日付新潟新聞より抜粋。当時の会議の混乱の様子がうかがえます。

高齢社会楽しく生きる 「いきいきセミナー」始まる

村中央公民館では、高齢社会を楽しく、いきいきと生きるヒントを得て頂くことを目的に、新潟日報「甘口辛口」執筆者の須田英夫氏を専任講師に迎えてこの講座を開講しました。



この講座に出て文学者になるわけではないが、少し高級な石鹸で自分を磨いてちょっと粋な自分づくりをしようではないか」